

事前評価個表

整理番号	2
------	---

地域（地区）名	釧路根室 <small>くしろねむろ</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	白糠町 <small>しらぬかちょう</small> ほか12市町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道の最東端に位置し、東部はオホーツク海、南部は太平洋に面し、西部から北部に千島火山帯の阿寒・知床山系が連なり、南部から東部にかけて広大な波状大地が広がっている。また、釧路湿原、風蓮湖、春国岱など数多くの湿地が存在し、全国の湿地面積の56%を占めている。</p> <p>本地区の総面積962千haのうち、森林面積は558千ha（森林率58%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は79千ha（人工林率29%）で、カラマツが44%、トドマツが34%を占めており、齢級構成ではいずれも利用期のⅧ齢級以上が多く、成熟した資源を有効利用し、伐採後は確実に更新を図ることが必要となっている。</p> <p>また、計画区内の林道延長は685千mで、公道等を含む林内道路密度は12.6m/haとなっており、このほかに林道の支派線として作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち34千ha（人工林の43%）がⅧ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、釧路根室地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：39,690ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：3,768m 林業専用道</p> <p>総事業費：10,293,445千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.72 (総便益(B) = 77,409,462千円、総費用(C) = 20,799,670千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

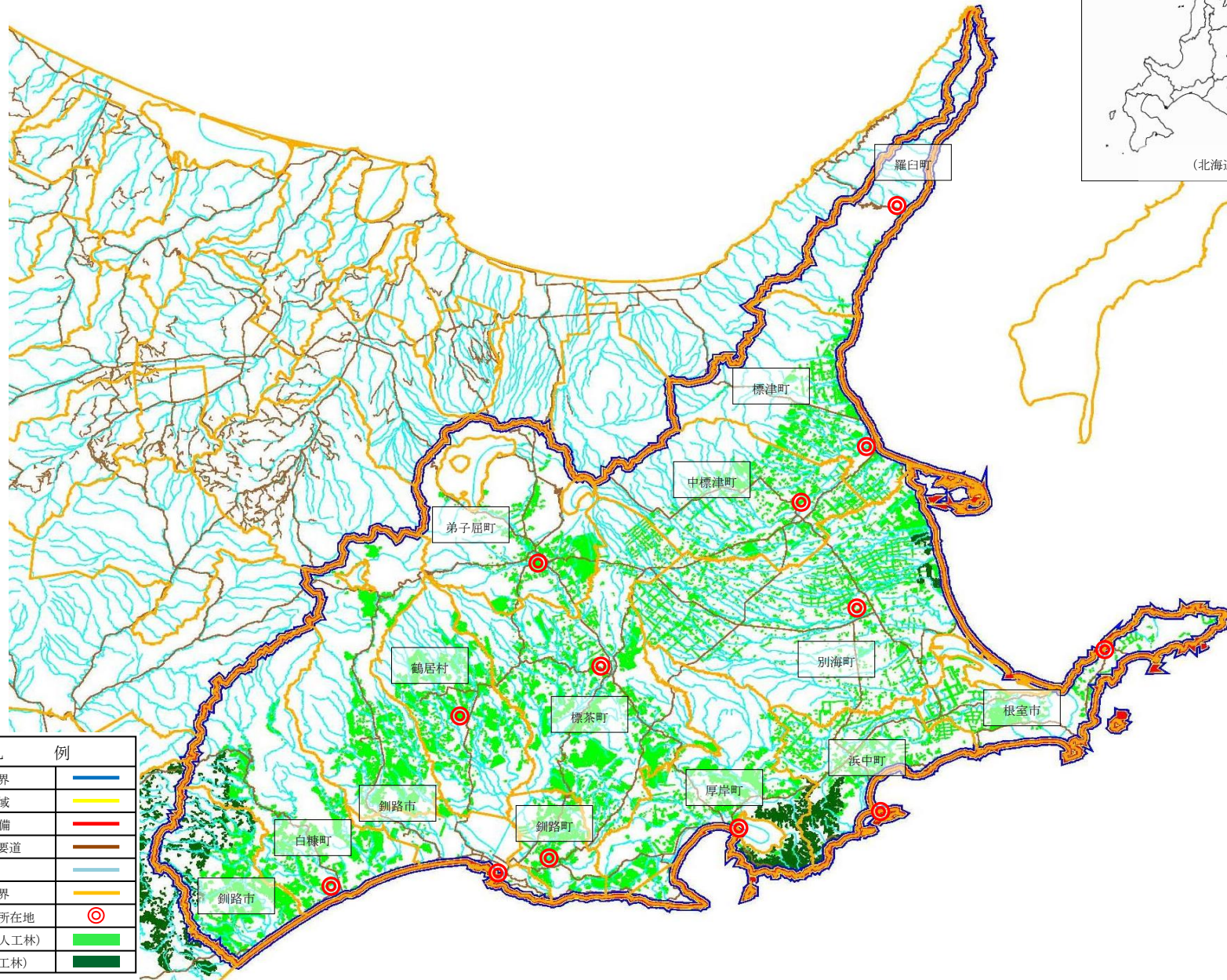
都道府県名:北海道

地域(地区)名:^{くしろねむろ}釧路根室

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	12,065,703	
	流域貯水便益	4,823,588	
	水質浄化便益	10,579,132	
山地保全便益	土砂流出防止便益	24,301,278	
	土砂崩壊防止便益	250,004	
環境保全便益	炭素固定便益	18,585,681	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	6,617,153	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	186,923	
総 便 益 (B)		77,409,462	
総 費 用 (C)		20,799,670	
費用便益比	$B \div C = \frac{77,409,462}{20,799,670} = 3.72$		

森林環境保全整備事業 釧路根室地域（北海道）



凡	例
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林 (人工林)	
道有林 (人工林)	